

iHUB通信

Pickup! アイハブでこんなことやってます

「先生は何の先生なの?」と聞かれたときは、「ことばの先生」と、答えています。予想していた以上にわかりやすい答えだったようで、この一言で伝わることが多いです。「ことばに困ってます」と、すぐに相談してくれることもあります。

人のことばには、「伝達」(情報や気持ちを伝える)、「思考」(考えを整理する)、「行動調整」(行動の変化のきっかけ)の3つのはたらきがあるとされています。ことばを使うと、ほかの人との会話も生まれ、ことばはさらに力を発揮します。



iHUBの仕事で、いろいろな教室に行ったり、iHUB教室で1対1の授業をしたりしています。ひらがなや漢字を教えることもあります。学校生活で困っていることがあれば、ことばの面から解決できることはないか考えサポートしています。

げんごがくしゅう しんりがく 言語学習と心理学

「ことばの先生」として仕事をするようになって、日本語の文法や教え方が重要になると思っていたのですが、それ以上に、ことばと心の関係について考えながら仕事をするが増えました。(少し難しい言葉で「言語心理学」や「認知心理学」と言います。)そこで、通信の中で、ことばと心の関係を考えるときのキーワードを紹介していきたいと思います。

がいこくご ふくさよう 外国語副作用

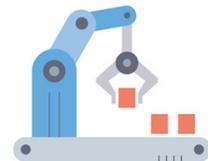
foreign language side effect

外国語を使っているとき、考える力が一時的に落ちてしまう現象。たとえば、会話がかみ合わなくなったり、的外れだったりしたときに、「慣れない外国語だからことばが上手に使えなくて、話の意味がわからなくなってしまう」と考えるのではなく、「外国語としてこのことばを話しているから、考える力が落ちているかもしれない」と考えることです。

じどうか 自動化

automatization

慣れていることばと慣れていないことばの違いとして、そのことばを使った経験が多いか少ないか、というのがあります。使った経験が多いと、そのことばを使うときに注意したり、よく考えたりしなくても使えるようになります。このことを「自動化」といいます。



せんもんか Thank you! 専門家からのアドバイス

1月24日に日本台湾交流協会の日本語専門家 藤田先生と細田先生が、iHUBの仕事を見て、アドバイスをくださいました。

ほじょりん 補助輪のような存在に

「iHUBを知ってもらうために、活動内容を周りの方々にわかりやすく伝えていくことが大切です」

「さまざまな言語環境に身を置くみなさんの、補助輪のような存在で、いざというときに頼れる場所になるといいですね」

半日の見学の中で、授業にも参加していただき、たくさんのお話を伺いました。これからいかしていきたいと思っています。



じごうよこくほんごうさんこうぶんけん What's next? 次号予告 & 本号の参考文献

・アイハブQ&A ・「日本語補習」閉講式レポート ・iHUBの1年間
本号の参考文献：海保博之・柏崎秀子編『日本語教育のための心理学』(新曜社) 2002、
小林明子・福田倫子・向山陽子・鈴木伸子著『日本語教育に役立つ心理学入門』(くろしお出版) 2018